

地方創生推進交付金の活用状況（令和4年度）

交付対象事業名	機能	事業名（事業概要）	計画額 （単位：円）	交付金充当額 （単位：円）	事業開始	事業終期	重要業績評価指標（KPI）			実績値			今後の方針	取組評価 （下表参照）				
							KPI①	KPI②	KPI③	KPI①	KPI②	KPI③						
「全世代・全員活躍のまち南部町」推進プロジェクト	【交流・居場所】	・試行によるサードプレイスの運営 概要：前年度に試行設置したサードプレイスの状況を検証し、本年度中に完成予定の「ごちゃまぜ」交流拠点との連携を図る。	4,000,000	2,200,000	R4.4	R5.3	450人			4,435人				事業の継続	A			
		・地域商社による南さいはく地区交流拠点の運営 概要：本年度より開設される南さいはく交流拠点について、地域商社を中心とした運営とするための体制づくり等を行う。	1,100,000	267,300	R4.4	R5.3								事業の継続	A			
		・公共施設敷地内へのポケットパーク整備 概要：「しごとコンビニ」の設置場所となる公共施設にポケットパークの整備を検討する	町独自財源		R4.4	R5.3								事業の継続	B			
		「交流・居場所の複層的」利用促進事業 概要：前年度に行ったイベントや講座のアンケート結果等を踏まえ、ニーズに応じた魅力的なプログラムづくりを行う。												事業の継続	A			
		・JICA人材を活用した多文化・多世代交流イベント（委託）	4,400,000	2,200,000	R4.4	R5.3								A				
		・図書・郷土資料を活用した交流促進事業	432,000	255,164	R4.4	R5.3								A				
		・里人によるオンライン等を活用した交流講座の開催	1,001,000	299,602	R4.4	R5.3								A				
		・「交流・活躍等」地域内拠点めぐり町民ツアー開催 概要：新たな生涯活躍のまち構想の理解を深めるとともに、これまで整備してきた交流拠点の利用を促進するため町民を対象とした拠点めぐりツアーを開催する。	150,000	4,828	R4.4	R5.3								事業の継続	B			
		・子どものまち体験プログラムの開発実施 概要：町児童の愛郷心を育むため「子どもまち体験プログラム」を開発する。	330,000	233,750	R4.4	R5.3								事業の継続	A			
		【活躍】	・各種ボランティアポイント、健康づくりポイント等の電子化及びローカル電子マネーとの連動に向けた検討 概要：引き続き「活躍アプリ」の検討を進め、本年度中に主な仕様を決定する。	500,000	0	R4.4								R5.3	0法人	0法人	独自財源による事業の継続	B
	・「ICT×共助社会」買い物支援システムの試行 概要：民間事業者と連携しICT技術を活用した買い物代行システムの試行を開始するとともに、検討中の「活躍アプリ」との連携の可能性を探る。		事業費なし		R4.4	R5.3								事業の継続			B	
	・「地域活躍協議会」の定期開催		50,000	0	R4.4	R5.3								独自財源による事業の継続			B	
	・緑水湖周辺地域が活性化するための活動計画策定・実証活動に対する支援 概要：前年度策定した活動計画を基にモニターツアーや周遊マップ作製、直売所での販促等を行う。		2,000,000	979,000	R4.4	R5.3								事業の継続			A	
	・竹、ジビエ等「里山保全×特産品開発」に対する支援 概要：特産品を製造するためのライン構築やパッケージデザインを進め、本年度中に試食会等を開催する。		2,000,000	144,700	R4.4	R5.3								事業の継続			B	
	【しごと】	・「しごとコンビニ」の運営 概要：「しごとコンビニ」の開始に向けた準備を進め試験運用を開始し、本年度中に本格運営に切り替える。	22,313,000	10,504,230	R4.4	R5.3										事業の継続	A	
		・「しごとにつながる学びのクラスター講座」の本格稼働 概要：前年度のアンケート結果を基に、既存講座の見直しや新規講座の検討・実施等を行う。	7,500,000	3,839,000	R4.4	R5.3										事業の継続	A	
	【住まい】	南部町版「空き家利活用2.0」推進事業 概要：モデル実施した新たな空き家改修スキームの検証を行い「空き家利活用2.0プラン」に反映させるとともに、その他の事業スキームについても試行を行う。												4件		5件	事業の継続	B
		・「空き家利活用2.0プラン」の検証	100,000	0	R4.4	R5.3											事業の継続	A
		・新たな住まいの「確保・環境整備」等事業 概要：前年度の試験結果を踏まえ、デマンド運行型バスを全域で本格稼働させる。	独自財源		R4.4	R5.3											事業の継続	B
		・新たな公共交通の運用開始 概要：前年度策定した土地利用計画に基づき、住宅ニーズに関するマーケティングを行う	3,300,000	1,372,000	R4.4	R5.3											事業の完了	A
【健康】	多世代「誰もが健康なまちづくり」推進事業 概要：月1～2回の開催であった「まちの保健室」について、地域振興協議会ごとに地域福祉コーディネーターを配置し、常設開催できる体制を整えることで前身事業の深化・高度化を図る。常設化は地域福祉コーディネーターが確保できた地域振興協議会から順次進め、2023年度の完了を目指す。								事業の継続	B								
	・まちの保健室常設化に向けた経費	700,000	355,202	R4.4	R5.3				B									
	・地域福祉コーディネーターの配置	独自財源		R4.4	R5.3				B									
	・民間企業とコラボによるオリジナル健康食品の開発 概要：民間企業と連携し、町独自の減塩健康食品を開発・製造する。	387,000	127,213	R4.4	R5.3				事業の継続	B								
	・地域共生社会実現のための「配食×見守り」事業 概要：前年度に検討した「配食×見守り」事業について取組を開始する。	660,000	独自財源	R4.4	R5.3				独自財源による事業の継続	B								

【人の流れづくり】	・民間企業連携による活躍人材育成と地域課題解決事業 概要：都市部の様々な企業と地域団体とのマッチングを定期的・年次的に行い、民間企業連携による活躍人材育成と地域課題解決事業を実施する。	990,000	440,000	R4.4	R5.3						事業の継続	A
	・首都圏若者と高校生サークル関係づくり事業 概要：首都圏の若者と町内の高校生サークルの交流イベントやワークショップ等を開催する。	304,000	137,500	R4.4	R5.3						事業の継続	A
	・全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」基本計画の進捗管理及び伴走支援業務 概要：地域再生推進法と行政で毎月開催される連絡調整会議に有識者を加え、プロセス体系図やガントチャート等を作成し、事業全体の進捗管理を行う。	970,000	467,500	R4.4	R5.3						事業の完了	A
	・全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」構想に関するwebサイトの作成 概要：全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」構想に関するwebサイトの作成を行う。	2,200,000	784,300	R4.4	R5.3						事業の完了	A
	・地域課題解決人材誘致のためのマッチング業務 概要：町内で必要とする人材に関するニーズ調査を行い、域外の人材とのマッチングを図る。ターゲットを移住希望者だけでなく関係人口や企業に拡大するとともに、オンラインでの相談体制を強化する	5,800,000	2,899,600	R4.4	R5.3						事業の継続	A
	・地域が必要とする人材ニーズ調査	事業費なし		R4.4	R5.3						事業の継続	A
	・マーケティング結果に基づいた広報戦略の実施 概要：前年度に策定したマーケティング戦略に基づき、各種プロモーションを行う。	2,000,000	951,500	R4.4	R5.3						事業の継続	A
合計	70,187,000	32,290,389										

交付対象事業名	事業名（事業概要）	計画額 （単位：円）	交付金充当額 （単位：円）	事業開始	事業終期	重要業績評価指標（KPI）			実績値			今後の方針	取組評価 （下表参照）
						KPI①	KPI②	KPI③	KPI①	KPI②	KPI③		
「観光から関係人口・企業移転」までを「標高0mから大山頂上」で切れ目なく受け入れ、来訪者の幸せ実現をめざす大山・日野川圏域	「観光から関係人口へ」体験プログラム事業（サイクリングの聖地化、周遊ルートの設定検討）	325,000	157,208	R4.4	R5.3							事業の継続	B
	関係人口・地域収益イノベーション事業（田舎で泊まろう推進事業 農泊振興）	1,147,000	474,131	R4.4	R5.3	65%	200人	60%	74%	3,019人	47%	事業の継続	A
	合計	1,472,000	631,339										

第2期なんぶ創生総合戦略検証委員からのコメント	コロナ禍にあっても、イベントなど人を集める取組みは参加者を限定することやオンラインなどを上手く活用し、事業が着実に実施された。3つのKPIも全て達成されており、特にKPI①（活躍人口数）は、大幅に増加していることからまちの賑わいや活躍の場の創出に大きく寄与していると認められる。ただし、KPI①の計画との乖離が大きいため計画値を見直す必要がある。
-------------------------	---

取組評価指標	
A	目標を達成
B	目標を70%以上達成
C	目標を50%以上達成
D	目標を50%未満達成